

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

- 平成 23 年度第 3 四半期の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について開示いたします。
- 米国サブプライムローン関連および証券化商品等の投資概要は以下のとおりです。

(サブプライムローン関連)

- ・ 平成 23 年度第 3 四半期の期中・期末において、サブプライムローン関連商品への直接投資はございません。よって、これにかかわる実現損益もございません。

(証券化商品)

- ・ 証券化商品は、住宅金融支援機構債を中心とする国内 R M B S や、米国エージェンシー M B S が大半を占めております。

①特別目的事業体（S P E s）一般

取引・残高はございません

②債務担保証券（C D O）

取引・残高はございません

③その他のサブプライム・A l t - A エクスポージャー

取引・残高はございません

④商業用不動産担保証券（CMB S）

			(億円)	
	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成23年9月末		
国内CMBS	171	171	▲ 15	—

- 裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。

裏付資産：日本国内の商業用不動産

格付：AAA格 14% AA格 23% A格 11% BBB格 40% BB格 12%

⑤レバレッジドファイナンス

取引・残高はございません

⑥その他の証券化商品等

			(億円)		
	時価		含み損益	実現損益	
合計	44,438		2,089	▲ 3	
ABS	43,980		2,081	▲ 3	
	国内RMBS	19,530	879	—	
	米国RMBS	23,838	1,201	▲ 3	
クレジットリンクノート	458		8	—	

- サブプライムローン関連のエクスポージャーはございません。

- ABSは、住宅貸付を裏付資産としたRMBSが大半を占めております。国内住宅貸付を裏付資産とした国内RMBSは、住宅金融支援機構債および国内銀行等が発行するRMBSです。また、米国住宅貸付を裏付資産とする米国RMBSは、全てファニーメイ、フレディマック、ジニーメイのエージェンシーMB Sです。

- 商品毎の裏付資産、格付の状況は以下のとおりです。

ABS 裏付資産：国内住宅貸付 44% 米国住宅貸付 54% 金銭債権（国内リース債権等）1%
格付：AAA格 45% AA格 55%
（最上級の短期格付をAAA格、エージェンシーMB SをAA格に集計）

クレジットリンクノート 裏付資産：国内企業を参照するクレジットデフォルトスワップ
格付：AA格 22% A格 78%

①～⑥総合計

			(億円)		
	時価	含み損益	実現損益		
総合計	44,609	2,073	▲ 3		

(その他)

- 投資信託・ヘッジファンド等の一部にサブプライム関連の証券化商品への投資があり、ファンドへの組入比率から算出したエクスポージャーは約 0 億円、子会社等を含めた間接投資合計では約 2 億円となります。
- ファニーメイ、フレディマック等に対しては、エージェンシーMB Sの他、エージェンシー債への投資を行っており、時価 68 億円、含み損益 6 億円、実現損益▲0 億円、となっております。

以上